

## 令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局		総務局 総合政策局	課	人事課 ダイバーシティ推進課	事業番号	3111
<b>事業概要 (PLAN)</b>						
基本目標	3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大					
方針	1 政策形成への女性の参画の促進	重点方針	○			
施策の方向	1 すべての審議会などへの女性委員の登用推進					
事業番号/ 事業名	3111 審議会等委員への女性の登用の推進					
事業内容	審議会等(附属機関)への女性委員の登用を推進するため、「女性委員の登用率40%以上」を達成できるよう、委員の選出規定の見直しや選出区分、選出方法の見直し等について、審議会等の所管課に対する働きかけを行う。					
29年度に 向けた 方向性	【課題】 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。  【今後の方向性】 ・重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。					
(PLAN)						
参考	関連する計画					
<b>実施内容 (DO)</b> ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。						
30 年度	【人事課】 各審議会に対し、女性委員の登用率向上について個々に具体的にどのような方法で女性委員を増やすことができるか聞き取りを行い、次回の委嘱時にはさらに女性比率を上げるよう意識付けを行った。(H30.4.1 登用率 37.1%) また、H30年度より「附属機関の委員委嘱におけるチェックシート」を導入し、委員の委嘱の際には審議会等における女性委員の比率が尼崎市男女共同参画計画に基づく目標数値を達成しているかどうかを確認している。  【ダイバーシティ推進課】 H30.4.1現在の数値では、尼崎市は兵庫県下市町村では第1位となっている。  ①「附属機関に関する基本的な指針」の見直しを行い、以下の文言を追記している。 『委員に占める女性委員の比率が、尼崎市男女共同参画計画に基づく目標数値を達成するよう、充て職の場合には、特定の職にこだわらず、可能な限り女性が就任している職を指定に加える等の取組に努めるとともに、団体推薦の場合においても、役職や年齢、経歴にとらわれることなく被推薦者を選出してもらえよう依頼するなどの取組に努めること。また、女性委員の比率が目標数値に達しない場合は、審議内容等に応じて、幅広い意見を聴取するための工夫を検討すること。』 ②附属機関の委員委嘱におけるチェックシートの導入 指針の運用の遵守を図るため、今後委員の任免に当たり総務局長まで合議を行う際には、「附属機関の委員委嘱におけるチェックシート」に40%に達しているかどうか、達していない場合は、その理由と達成に向けた今後の具体的取組内容を記載のうえ、決裁に添付することとしている。 (①②とも行政管理局が所管)					
	【人事課】 各審議会に対し、女性委員の登用率向上について個々に具体的にどのような方法で女性委員を増やすことができるか聞き取りを行い、次回の委嘱時にはさらに女性比率を上げるよう意識付けをおこなった。(H29.4.1 登用率 38.1%)  【ダイバーシティ推進課】 H29.4.1現在の数値では、尼崎市は兵庫県下市町村では第1位となっている。					
前年 29 年度	【人事課】 各審議会に対し、女性委員の登用率向上について個々に具体的にどのような方法で女性委員を増やすことができるか聞き取りを行い、次回の委嘱時にはさらに女性比率を上げるよう意識付けをおこなった。(H29.4.1 登用率 38.1%)  【ダイバーシティ推進課】 H29.4.1現在の数値では、尼崎市は兵庫県下市町村では第1位となっている。					
<b>評価1</b>		<b>(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください						
<b>評価2</b>		<b>(CHECK) 数値目標</b>				
目標項目		審議会等(附属機関)の女性の委員割合				
目標・実績	目標値	40%以上	達成年度	33年度	29年度	38.1%
					30年度	37.1%
実績の評価		<input type="checkbox"/>	達成している	<input checked="" type="checkbox"/>	下回った	備考
<b>評価3</b>		<b>(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>				
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
<b>課題</b>		<b>(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</b>				
【人事課】 専門分野によっては、女性の学識経験者が見当たらない場合がある。  【ダイバーシティ推進課】 数値目標にあと少し届いていない。						
<b>今後の方向性</b>		<b>(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</b>				
【人事課】 引き続き「女性委員の登用率40%以上」を達成できるよう、委員を推薦する団体等への積極的な声かけや選出方法の見直し等について、審議会等の所管課に対する働きかけを行う。  【ダイバーシティ推進課】 引き続き、審議会等(附属機関)への女性委員の登用を推進する。						

## 附属機関の委員委嘱におけるチェックシート

委嘱しようとする方が就任する附属機関の数は本附属機関を含め3つ以内となりますか？  
 はい いいえ

⇒いいえの場合は、その機関数と具体的な理由を記入してください。

※委嘱する前に本人に確認するか、人事課に確認してください（人事課で一定把握しています）。

任期が、現在連続して10年を超えていませんか？      はい      いいえ

⇒いいえの場合は、その年数と具体的な理由を記入してください。

女性の委員割合は男女共同参画計画に基づく目標数値（40%）に達していますか？  
 はい      いいえ      \_\_\_\_%

⇒いいえの場合は、その具体的な理由と今後達成にむけてどのような取組みを予定（検討）しているか記入してください。

※平成30年9月18日付け尼行管第3220号「附属機関及び会議体に関する見直しについて（通知）」を参照してください。

### 具体的な理由

（例）推薦団体に対し、役職や年齢、経歴にとらわれることなく被推薦者を選出してもらえよう依頼したが、〇〇といった理由により、女性の推薦を得られなかったため。

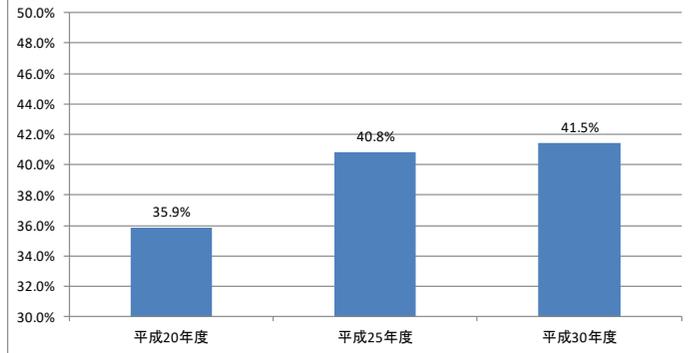
### 今後の取組み

## 令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局		総務局		課		人事課		事業番号		3121	
<b>事業概要 (PLAN)</b>		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>									
基本目標 3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大		実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓									
方針 1 政策形成への女性の参画の促進 <span style="float:right">重点方針</span> <input type="checkbox"/>											
施策の方向 2 企画管理部門等への積極的な女性職員の配置											
事業番号/事業名 3121 性別にとらわれない職域の拡大											
事業内容 庶務・経理等の職務だけでなく、企画、対外的な折衝等多様な職務に登用できるよう女性職員の職域の拡大を図る。											
30年度に向けた方向性 (PLAN) 【課題】女性管理職比率や企画財政局における女性比率は少しずつ改善されているが、全体の比率に比べると比率は低い。【今後の方向性】引き続き若手職員や女性職員を対象に、ジョブローテーションを行い、多様な分野への登用に取り組みます。		<b>評価2 (CHECK) 数値目標</b>									
		目標項目									
		目標・実績 目標値 達成年度 年度 29年度 30年度 実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った 備考									
参考 関連する計画											
<b>実施内容 (DO)</b> ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		<b>評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>									
30年度 昨年度までに引き続き、女性職員を含めた若手職員を対象に、採用後10年間に3カ所程度の職場を経験させるジョブローテーションを行い、適性等に応じた多様な分野への登用を図った。【別紙】		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について									
		<b>課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</b>									
前年 29年度 昨年度に引き続き、若手職員や女性職員を対象に、ジョブローテーションを行い、多様な分野への登用を図った。【別紙】		女性職員の割合や女性管理職比率、技術職における女性職員の割合は少しずつ増えているが、企画財政局における女性職員の割合が少ないなど、部局ごとの男女比の偏りがある。									
		<b>今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</b>									
		男女にかかわらず、ジョブローテーションの考え方を踏まえるなどし、働きやすい職場環境の構築等とあわせて、企画・政策・財政部局も含めた多様な分野への配置・登用に引き続き取り組みます。									

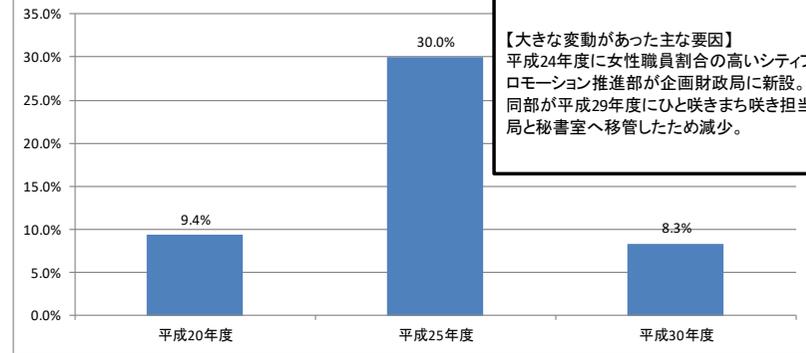
実施内容

女性職員の割合



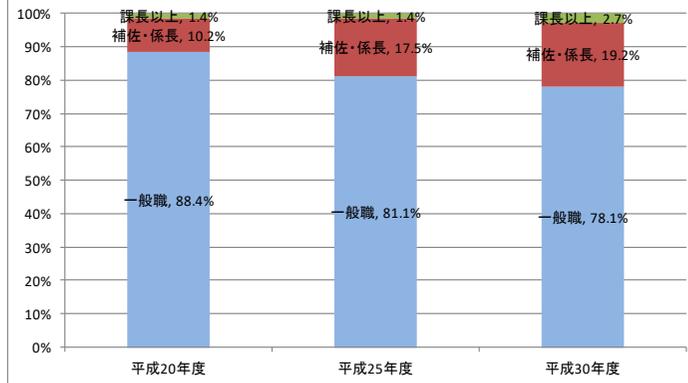
● 女性職員の割合については、10年間(H20⇔H30比較)で、5.6ポイント増となっている。

企画財政局における女性職員の割合



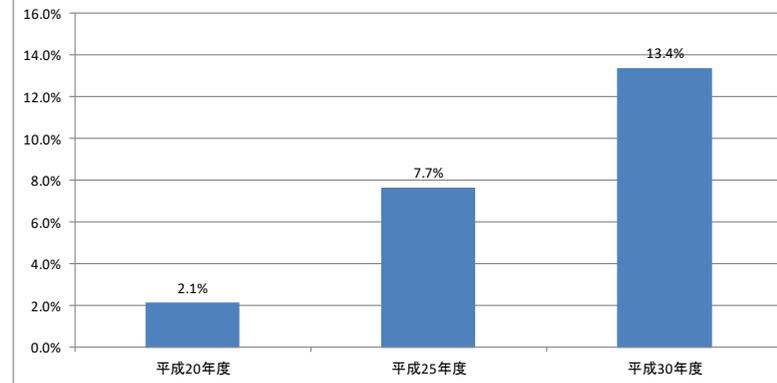
● 企画財政局における女性職員の割合については、10年間(H20⇔H30比較)で、0.9ポイント減となっている。

女性職員の中での階層別の割合



● 女性職員中での階層別の割合については、課長以上の管理職においては、10年間(H20⇔H30比較)で、1.3ポイント増、課長補佐・係長級については9.0ポイント増となっている。

技術職(土木、建築、電気、機械)における女性職員の割合



● 技術職(土木、建築、電気、機械)における女性職員の割合については、10年間(H20⇔H30比較)で、11.3ポイント増となっている。  
● 機械工学、電気通信工学、土木建築工学の分野では、大学生の男女比率が男性に偏っており、本市職員に限らず、その分野全体での女性数がそもそも少ない。

30年度

## 令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局		総務局		課		人事課		事業番号		3122		
<b>事業概要 (PLAN)</b>		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>										
基本目標 3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大		実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓									
方針 1 政策形成への女性の参画の促進 <span style="float:right">重点方針 ○</span>												
施策の方向 2 企画管理部門等への積極的な女性職員の配置		を入れてください										
事業番号/事業名 3122 女性職員の管理職への登用の推進												
事業内容 女性職員の能力が発揮できる環境づくりに努め、女性職員の管理職の比率を高めていく。												
30年度に向けた方向性 (PLAN) 【課題】 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。 【今後の方向性】 重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。		<b>評価2 (CHECK) 数値目標</b>										
参考 関連する計画		目標項目 ①市の課長級以上の女性の管理職割合 ②市の課長補佐・係長級に占める女性割合 [市長事務部局]										
		目標・実績	目標値	①15%以上 ②32%以上	達成年度	31年度	29年度	①9.6% ②31.8%	30年度	①9.5% ②33.1%		
		実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	達成している	<input checked="" type="checkbox"/>	下回った	備考	②については平成30年度に達成したが、①については引き続き下回った。				
<b>実施内容 (DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。</b>		<b>評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>										
30年度 ・課長補佐・係長級の女性職員を対象に、人事院近畿事務局が実施する「女性職員キャリアアップ研修」や、兵庫県が実施する「女性リーダー育成研修」の受講を勧め、そうした職員が次のキャリアイメージを描けるように、また、能力・資質を一層向上させることができるように図った。 ・育児休業の取得に伴う職員の長期不在については、その代替に可能な限り正規職員の配置を行うなど、働きやすい職場環境の整備に努めている。 ・男性職員の育児休業取得を促進するため、「男性職員育児休業取得者との座談会」を開催したり、庁内用掲示板で男性職員の育児休業取得体験談を掲載したりするなどの取組を行った。		<b>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</b>										
前年 29年度 ・ライフ・キャリアプラン研修の実施 男性職員も含めた全職員に対して、女性の働き方や能力開発に関する理解を深めるとともに、自らのキャリアをデザインし、やりがいや充実感を持ちながら働くことができるようになるためのきっかけとして、今後のキャリア形成や周囲の支援について考える。		課題	<b>(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</b>									
		・課長補佐・係長級に占める女性職員の割合は尼崎市特定事業主行動計画の数値目標に達しているが、課長級以上に占める女性職員の割合は達していない。 ・家事や子育てなど、家庭での責任が社会一般的に女性に偏っている傾向があり、そうした状況は女性の職業生活における活躍を妨げる要因の一つとなることから、男性が積極的に家事・子育てに取り組むように促していく必要がある。										
		今後の方向性	<b>(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</b>									
		・女性職員が自らのキャリアをデザインしやすいよう、引き続き女性職員の能力が発揮できる環境づくりに努め、性別に関係なく、能力や資質等により判断していく中で女性職員の管理職の比率を高めていく。 ・男性職員が家事や子育てに能動的に取り組む契機となるよう、男性職員に対して、出産補助休暇や男性職員の育児のための休暇、育児休業の取得を積極的に呼びかけていく。										

# 62 別紙

3122 別紙

30 年度	消防局、教育委員会事務局、公営企業局(水道局、公営事業局)を除く役職者男女別人数								
	職層	H30.4.1			H29.4.1			差引	
		全体	左のうち女性	女性比率	全体	左のうち女性	女性比率	全体	左のうち女性
	局長級	12	2 (16.67%)	12	2 (16.67%)		0	0	
	部長級	47	2 (4.26%)	44	1 (2.27%)		3	1	
	課長級	144	18 (12.50%)	142	16 (11.27%)		2	2	
	課長級以上小計	203	22 (10.84%)	198	19 (9.60%)		5	3	
	課長補佐級	47	9 (19.15%)	70	11 (15.71%)		▲ 23	▲ 2	
	係長級	424	147 (34.67%)	408	141 (34.56%)		16	6	
	課長補佐・係長級小計	471	156 (33.12%)	478	152 (31.80%)		▲ 7	4	
	合計	674	178 (26.41%)	676	171 (25.30%)		▲ 2	7	
	(参考) 兵庫県41市町平均 H30.4.1現在 ・女性管理職割合(課長級以上) : 16.3% ・女性職員割合 : 39.8%				(参考) 兵庫県41市町平均 H29.4.1現在 ・女性管理職割合(課長級以上) : 15.7% ・女性職員割合 : 39.4%				

前年 29 年度	消防局、教育委員会事務局、水道局、公営事業局を除く役職者男女別人数								
	定数職種詳細	H29.4.1			H28.4.1			差引	
		全体	左の内女性	女性比率	全体	左の内女性	女性比率	全体	左の内女性
	局長級	12	2 (16.67%)	11	1 (9.09%)		1	1	
	部長級	44	1 (2.27%)	45	2 (4.44%)		▲ 1	▲ 1	
	課長級	142	16 (11.27%)	135	14 (10.37%)		7	2	
	課長以上小計	198	19 (9.60%)	191	17 (8.90%)		7	2	
	課長補佐級	70	11 (15.71%)	90	14 (15.56%)		▲ 20	▲ 3	
	係長級	408	141 (34.56%)	389	132 (33.93%)		19	9	
	課長補佐・係長級小計	478	152 (31.80%)	479	146 (30.48%)		▲ 1	6	
	合計	676	171 (25.30%)	670	163 (24.33%)		6	8	
	(参考) 兵庫県41市町平均 H29.4.1現在 ・女性管理職割合(課長級以上) : 15.7% ・女性職員割合 : 39.4%				(参考) 兵庫県41市町平均 H28.4.1現在 ・女性管理職割合(課長級以上) : 14.6% ・女性職員割合 : 36.7%				

# 62 別紙

## 令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局		教育委員会事務局		課		職員課		事業番号		3123					
<b>事業概要 (PLAN)</b>				<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>											
基本目標 3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大				実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓											
方針 1 政策形成への女性の参画の促進 <span style="float:right">重点方針</span> <input type="checkbox"/>															
施策の方向 2 企画管理部門等への積極的な女性職員の配置				<b>評価2 (CHECK) 数値目標</b>											
事業番号/事業名 3123 女性教員の管理職への登用の推進															
事業内容 学校運営における、性別にとらわれない職務分担を推進する。				目標項目											
30年度に向けた方向性 (PLAN) 【課題】男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。 【今後の方向性】重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。				目標・実績		目標値		達成年度		年度		29年度		30年度	
参考 関連する計画				実績の評価		<input type="checkbox"/>		達成している		<input type="checkbox"/>		下回った		備考	
<b>実施内容 (DO)</b> ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				<b>評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>											
別紙参照															
30年度 【小学校、中学校の管理職の割合が増えている理由】 ・5年、6年という長期的視野にたつて計画的に女性を中心に、人材の発掘を行ってきた。 ・優秀な人材について、リーダー研修を始めとした研修等を行い、学校経営に参画する意識を高めてきた。 ・学校現場では、校務分掌の適材適所を推進してきた結果、女性教員の管理職への意識が高まった				<b>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</b>											
前年 29年度 別紙参照															
				<b>課題</b>		<b>(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</b>									
				現在男女を問わず管理職を目指す教員が減少し、市教委としても管理職から主幹教諭等に働きかけをおこなっているところであり、その候補者確保が課題である											
				<b>今後の方向性</b>		<b>(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</b>									
				女性のみならず若手教職員等が働きやすい職場環境を整えることが重要と考えており、教職員の勤務時間適正化、ワークライフバランスの実現に向けて取り組んでいく。											

# 63 別紙

## 3123 別紙

実施内容						
30年度			前年 29年度			
<ul style="list-style-type: none"> <li>性別にとられない職務分掌、小中学校における主幹教諭、教務主</li> <li>女性管理職(校長・教頭)への登用</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>性別にとられない職務分掌、小中学校における主幹教諭、教務主</li> <li>女性管理職(校長・教頭)への登用</li> </ul>			
高等学校						
		女性	総数	割合	県立学校の平均※1	
高等学校	校長	0	3	0.0%	14.0%	
	教頭	0	6	0.0%	10.4%	
	一般教員	46	154	29.9%	—	
小学校・中学校・特別支援学校						
		女性	総数	割合	県内の市町立学校の平均※2	
小学校	校長	16	41	39.0%		
	教頭	6	41	14.6%		
	一般教員	621	958	64.8%		
中学校	校長	1	17	5.9%		
	教頭	4	18	22.2%		
	一般教員	243	501	48.5%		
特別支援学校	校長	0	1	0.0%		
	教頭	0	1	0.0%		
	一般教員	30	53	56.6%		
合計	校長	17	59	28.8%		13.8%
	教頭	10	60	16.7%		17.6%
	一般教員	894	1,512	59.1%	—	
※1 県立学校はほぼすべて高校であるため、参考に表示するもの ※2 市町立学校はほぼ全て小・中学校であるため、参考に表示するもの						
<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) 幼稚園の女性管理職の登用状況(園長7/10、教頭9/10、一般教員30/30)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考) 幼稚園の女性管理職の登用状況(園長9/13、教頭9/9、一般教員36/36)</li> </ul>			

# 63 別紙

## 令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局		総務局		課		給与課		事業番号		3124			
<b>事業概要 (PLAN)</b>													
基本目標		3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大											
方針		1 政策形成への女性の参画の促進								重点方針		○	
施策の方向		2 企画管理部門等への積極的な女性職員の配置											
事業番号/事業名		3124 「尼崎市特定事業主行動計画」の推進											
事業内容		女性の職業生活における活躍の推進に関する法律及び次世代育成支援対策推進法に基づき、女性の活躍推進に向けた女性職員の採用、キャリア形成支援、継続勤務、登用への取組、長時間勤務の是正等の男女双方の働き方改革、家事、育児や介護をしながら活躍できる職場環境の整備などを目的とした計画を推進する。											
30年度に向けた方向性 (PLAN)		<p>【課題】 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。</p> <p>【今後の方向性】 ・重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。</p>											
参考		関連する計画											
実施内容 (DO)		※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。											
30年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の採用試験受験者数の拡大に向けて、採用パンフレットやホームページ等に仕事と子育てに励む職員の声や子育て支援制度などを掲載し、女性が働きやすい職場であることの広報に努めている。</li> <li>・職員のワークライフバランスの実現に資するよう、年次有給休暇の取得(イベント年次休暇の設定を含む。)促進及び超過勤務の縮減を促すための通知文の発送、「子育て・介護支援ハンドブック」の作成等を実施している。また、職員のより幅広い働き方に柔軟に対応する観点から、新たに自己啓発等休業や配偶者同行休業等を導入した(平成31年4月実施)。</li> <li>・育児休業に伴う欠員については、可能な限り正規職員を基本とする対応を行うなど、育児休業を取得しやすい職場環境の整備に努めている。</li> <li>・新任役職者及び新規採用職員等を対象として、次世代育成に関する研修を実施したほか、2級在級2年目職員を対象として、ワークライフバランス推進の必要性を認識することを目的とした研修を実施した。</li> <li>・平成27年度より、課長級以上の人事評価において、ワークライフバランス推進・業務改善のための目標管理を設定し、ワークライフバランスの推進を図っている中、新たに、人材育成基本方針「はたらきガイド」を見直し、人事評価項目の再編や、能力の発揮につながる行動事例(コンピテンシー)を作成した。</li> </ul>											
前年29年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次有給休暇の取得(イベント年次休暇の設定を含む。)促進及び超過勤務の縮減を促すための通知文を発送しワークライフバランスへの意識喚起を行うとともに、個々の職員のワークライフバランスの実現に資するよう「子育て・介護支援ハンドブック」を発送している。</li> <li>・新任役職者及び新規採用職員等に対する研修の中に次世代育成に関する内容を盛り込み、ワークライフバランスの重要性について周知を行っている。さらに、平成29年度に、男性も含めた1級在級3年目職員を対象として、女性の働き方や能力開発に関する理解を深めることを目的とした研修を実施した。</li> <li>・平成27年度より、課長級以上の人事評価において、ワークライフバランス推進・業務改善のための目標管理を設定し、ワークライフバランスの推進を図っている。</li> <li>・平成27年度より、ワークライフバランス・業務改善推進委員会を設置し、ワークライフバランス・業務改善に関する個々の取組事例の情報共有等を行っている。(超過勤務削減のための意見交換、タイムマネジメント研修の実施及び研修資料の電子ファイリングへのアップ、男性育児休業取得体験記の掲示板へのアップ、子の看護休暇の要件拡大等)</li> </ul>											
評価1		<b>(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>											
実施できた項目に		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓											
をに入れてください													
評価2		<b>(CHECK) 数値目標</b>											
目標項目		男性の育児休業取得人数[市長事務部局]											
目標・実績		目標値	8人以上	達成年度	31年度	29年度	5人	30年度	5人				
実績の評価		<input type="checkbox"/>	達成している	<input checked="" type="checkbox"/>	下回った	備考							
評価3		<b>(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>											
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について											
課題		<b>(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</b>											
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性職員の育児休業取得者数は横ばいであり(平成29年度:5人→平成30年度:5人)、男性の育児に対するさらなる意識向上と職場風土づくりが必要である。</li> <li>・職員一人当たりの超過勤務時間は災害対応の増等に伴い、前年度比で微増(平成29年度:153.4時間→平成30年度:155.6時間)となっており、引き続き、多様な働き方に対応するため、超過勤務の縮減に取り組む必要がある。</li> </ul>											
今後の方向性		<b>(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</b>											
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行計画の期間が令和元年度までであるため、今年度は、現在の国の動向(働き方改革の推進、女性活躍推進法施行後3年の見直しなど)等も踏まえながら、次期計画の策定に取り組む。</li> <li>・超過勤務の縮減に向けて、よりの確な現状分析・検証に努め、新たな縮減方策や超過勤務命令の上限の導入等の検討を進める。また、男性が積極的に家事・子育てに取り組むよう、育児休業をはじめ、部分休業や出産補助休暇、男性職員の育児のための休暇の制度内容の情報発信に努め積極的な取得を促す。</li> </ul>											

## 令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総務	課	人材育成担当	事業番号	3131
<b>事業概要 (PLAN)</b>	<b>基本目標</b> 3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大 <b>方針</b> 1 政策形成への女性の参画の促進 <b>重点方針</b> ○ <b>施策の方向</b> 3 市職員の能力開発と男女共同参画研修の充実 <b>事業番号/事業名</b> 3131 女性職員の能力開発 <b>事業内容</b> 女性職員の管理職登用拡大に向け、女性リーダーを育成・支援するための各種研修への女性職員の派遣を実施する。また、女性職員の能力開発・キャリアアップ推進に向け、職員の意識啓発を図る研修を実施するとともに、必要な支援を行う。				
<b>30年度に向けた方向性 (PLAN)</b>	<b>【課題】</b> 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。 <b>【今後の方向性】</b> ・重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。				
<b>参考</b>	関連する計画				
<b>実施内容 (DO)</b>	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	別紙参照				
前年29年度	別紙参照				
<b>評価1</b>	<b>(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b> <b>実施できた項目に</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>を入れてください</b>				
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
<b>評価2</b>	<b>(CHECK) 数値目標</b> <b>目標項目</b>				
<b>目標・実績</b>	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
<b>実績の評価</b>	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
<b>評価3</b>	<b>(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>  <b>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</b>				
<b>課題</b>	<b>(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</b>				
多様な内容の研修について、男女双方を対象として派遣等を実施しており、女性リーダーの育成・支援において一定の効果があると考えているが、女性職員の管理職登用拡大に向け、今後も引き続き研修の充実を図る必要がある。					
<b>今後の方向性</b>	<b>(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</b>				
女性職員の管理職登用拡大に向け、女性リーダーを育成・支援するための各種研修へ女性職員を積極的に派遣するなど、研修の充実を図る。					

# 65 別紙

3131 別紙

実施内容	
30年度	前年 29年度
○国際文化アカデミー ・法令実務A (1人) ・保育士・幼稚園教諭のための保育行政 (1人) ・生活困窮者の自立支援 (1人) ・生涯学習によるまちづくりを考える (1人)	○市町村アカデミー ・地域ブランド等観光戦略の実践 (1人)
○国土交通大学校 ・建築指導 (1人)	○国際文化アカデミー ・全国地域づくり人財塾 (1人) ・地域住民の防災力向上 (1人) ・自治体外国人施策の実務 (1人) ・固定資産税課税事務 (1人) ・住民税課税事務 (1人) ・保育士・幼稚園教諭のための保育行政 (1人) ・自治体の内部統制と監査機能 (1人) ・児童虐待への対応 (1人) ・生涯学習によるまちづくりを考える (1人)
○兵庫県自治研修所 ・クレーム対応力向上研修 (7人) ・女性リーダー研修 (4人)	○国土交通大学校 ・景観・屋外広告物行政 (1人)
○兵庫県市町振興課 ・選挙事務担当職員研修 (1人) ・関連する計画 (1人) ・徴収事務担当職員研修 (5人) ・交付税担当職員研修 (1人) ・人事・労務担当職員研修 (2人)	○兵庫県自治研修所 ・研修企画担当者研修 (1人) ・クレーム対応力向上研修 (1人) ・民法研修 (1人) ・女性リーダー研修 (1人) ・市町村局長等管理職研修 (1人) ・協働による政策づくり研修 (2人)
○阪神南県民センター ・ワーク・ライフ・バランスセミナー研修 (1人)	○兵庫県市町振興課 ・給与事務担当職員 (1人) ・法制執務担当職員 (1人) ・人事労務担当職員 (2人) ・徴収事務担当職員 (2人)
○人事院近畿事務局 ・近畿地区女性職員キャリアアップ研修 (2人) ・近畿地区課長研修 (1人)	○阪神南県民センター ・メンタルヘルス研修兼地域別管理・監督職研修 (1人)
	○1級在級3年目職員研修 (47人) ・ライフ・キャリアプラン研修 (47人)
	○人事院近畿事務局 ・近畿地区女性職員キャリアアップ研修 (2人) ・近畿地区課長研修 (1人)

# 65 別紙

令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総務局	課	人材育成担当	事業番号	3132
<b>事業概要 (PLAN)</b> 基本目標 3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大 方針 1 政策形成への女性の参画の促進 <span style="float:right">重点方針 ○</span> 施策の方向 3 市職員の能力開発と男女共同参画研修の充実 事業番号/事業名 3132 職員研修の実施 事業内容 男女共同参画推進の一環として、ワーク・ライフ・バランス及びDV被害者への対応等に係る研修の充実を図る。		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b> 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください			
30年度に向けた方向性 (PLAN) 【課題】 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。 【今後の方向性】 ・重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。		<b>評価2 (CHECK) 数値目標</b> 目標項目 目標・実績			
参考	関連する計画	実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している	<input type="checkbox"/> 下回った	備考
<b>実施内容 (DO)</b> ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		<b>評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b> 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			
30年度	○新任課長研修 ……26人 (うち女性 3人) 男女共同参画について ○新任係長研修 ……69人 (うち女性 19人) 男女共同参画について 特定事業主行動計画について ○新規採用職員研修 ……146人 (うち女性 81人) 男女共同参画について ○ワークライフバランス推進研修 ……190人 (うち女性 22人) 互いに活かしあい協力を生み出す組織づくりについて ○キャリアデザイン研修……73人(うち女性 31人) ○組織のタイムマネジメント研修 ……46人 (うち女性 12人) ○タイムマネジメント研修 ……169人 (うち女性 59人)	<b>課題 (CHECK)</b> ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。			
前年29年度	○新任課長研修 ……23人 (うち女性 2人) 男女共同参画について ○新任係長研修 ……61人 (うち女性 17人) 男女共同参画について 特定事業主行動計画について ○新規採用職員研修 ……167人 (うち女性 80人) 男女共同参画について ○ワークライフバランス推進研修 ……182人 (うち女性 30人) ダイバーシティについて ○組織のタイムマネジメント研修 ……54人 (うち女性 9人) ○タイムマネジメント研修 ……161人 (うち女性 49人)	男女共同参画の推進のための研修については、新任役職者や新規採用職員などの必修研修として、機会を捉えて計画的に実施しており、職員の意識向上等において一定の効果があると考えているが、より効果的な実施に向け、その内容について検討していく必要がある。			
		<b>今後の方向性 (ACTION)</b> ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。			
		男女共同参画を推進するため、ワークライフバランス等に係る研修について、引き続き階層別の必修研修として計画的に実施する。			

## 令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	3211
<b>事業概要 (PLAN)</b>					
基本目標	3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大				
方針	2 社会における女性のエンパワーメントの促進				重点方針 ○
施策の方向	1 地域団体の意思決定部門への女性の参画促進				
事業番号/ 事業名	3211 出前講座の実施				
事業内容	市民の希望に応じて、市民が集まる場に職員が出向き、男女共同参画についての講座を実施する。				
30年度に 向けた 方向性  (PLAN)	<p>【課題】 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。</p> <p>【今後の方向性】 ・重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。</p>				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30 年度	<p>(ダイバーシティ推進課) 要望なし 【女性センター】 男女共同参画社会をテーマに講師を派遣した。 ・4~1月 園田学園女子大学つながりプロジェクト、2回生16人 ・10月21日 たちはなウエルカムパーティ「女性センター紹介、DV啓発」 デートDV防止のため、中・高・大学等に講師を派遣した。 ・中学6校、高校1校、大学2校3学部、学習支援1団体 ・8月4日 みんなのサマーセミナー 男女共同参画の視点を持って防災を考えるために、講師を派遣し講座を実施した。 ・9月9日 チアフルワークフェスタ「防災・防犯デコホイッスルづくり」</p>				
前年 29 年度	<p>(ダイバーシティ推進課) 要望なし 【女性センター】 男女共同参画社会をテーマに講師を派遣した。 ・4~1月 園田学園女子大学つながりプロジェクト、2回生12人 ・10月21日 たちはなウエルカムパーティ「女性センター紹介、LGBT啓発」 デートDV防止のため、中・高・大学等に講師を派遣した。 ・中学4校、大学2校4学部、学習支援1団体 男女共同参画の視点を持って防災を考えるために、災害対策課の市政出前講座に講師派遣をした。 ・8月5日 みんなのサマーセミナー「防災・防犯デコホイッスルづくり」 ・1月30日 尼崎市立園田小学校PTA人権学習会</p>				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた 項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてく ださい					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成 年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	(ダイバーシティ推進課) 市政出前講座の申込は年度によって申込が無い場合もあるが、今後とも継続して実施することが必要である 【女性センター】可能な範囲で講師派遣をしているが、限られた人員でいかに講師派遣を実施していくのが難しい。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	(ダイバーシティ推進課) 今後とも市民の希望に応じて出前講座を実施していく。 【女性センター】今後とも可能な範囲で講師派遣をする。				

令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	協働推進課	事業番号	3212																																				
事業概要 (PLAN)	基本目標 3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大 方針 2 社会における女性のエンパワーメントの促進 <b>重点方針</b> ○ 施策の方向 1 地域団体の意思決定部門への女性の参画促進 事業番号/事業名 <b>3212 地域団体に対する協力依頼</b> 事業内容 地域団体において、女性の役員登用などの理解を求めつつ、加入率の低下、役員のなり手がいないこと等地域団体の課題への対応について検討していく。 30年度に向けた方向性 (PLAN) 【課題】男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。 【今後の方向性】重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。																																								
参考	関連する計画																																								
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。																																								
30年度	<単位福祉協会会長男女比> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位福祉協会数</th> <th>男性割合</th> <th>女性割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成24年3月31日現在</td><td>627</td><td>81.18%</td><td>18.82%</td></tr> <tr><td>平成25年3月31日現在</td><td>624</td><td>81.09%</td><td>18.91%</td></tr> <tr><td>平成26年3月31日現在</td><td>621</td><td>83.57%</td><td>16.43%</td></tr> <tr><td>平成27年3月31日現在</td><td>618</td><td>82.52%</td><td>17.48%</td></tr> <tr><td>平成28年3月31日現在</td><td>618</td><td>82.20%</td><td>17.80%</td></tr> <tr><td>平成29年3月31日現在</td><td>605</td><td>79.17%</td><td>20.83%</td></tr> <tr><td>平成30年3月31日現在</td><td>603</td><td>80.27%</td><td>19.73%</td></tr> <tr><td>平成31年3月31日現在</td><td>598</td><td>79.43%</td><td>20.57%</td></tr> </tbody> </table>						単位福祉協会数	男性割合	女性割合	平成24年3月31日現在	627	81.18%	18.82%	平成25年3月31日現在	624	81.09%	18.91%	平成26年3月31日現在	621	83.57%	16.43%	平成27年3月31日現在	618	82.52%	17.48%	平成28年3月31日現在	618	82.20%	17.80%	平成29年3月31日現在	605	79.17%	20.83%	平成30年3月31日現在	603	80.27%	19.73%	平成31年3月31日現在	598	79.43%	20.57%
		単位福祉協会数	男性割合	女性割合																																					
平成24年3月31日現在	627	81.18%	18.82%																																						
平成25年3月31日現在	624	81.09%	18.91%																																						
平成26年3月31日現在	621	83.57%	16.43%																																						
平成27年3月31日現在	618	82.52%	17.48%																																						
平成28年3月31日現在	618	82.20%	17.80%																																						
平成29年3月31日現在	605	79.17%	20.83%																																						
平成30年3月31日現在	603	80.27%	19.73%																																						
平成31年3月31日現在	598	79.43%	20.57%																																						
前年29年度	<単位福祉協会会長男女比> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位福祉協会数</th> <th>男性割合</th> <th>女性割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成24年3月31日現在</td><td>627</td><td>81.18%</td><td>18.82%</td></tr> <tr><td>平成25年3月31日現在</td><td>624</td><td>81.09%</td><td>18.91%</td></tr> <tr><td>平成26年3月31日現在</td><td>621</td><td>83.57%</td><td>16.43%</td></tr> <tr><td>平成27年3月31日現在</td><td>618</td><td>82.52%</td><td>17.48%</td></tr> <tr><td>平成28年3月31日現在</td><td>618</td><td>82.20%</td><td>17.80%</td></tr> <tr><td>平成29年3月31日現在</td><td>605</td><td>79.17%</td><td>20.83%</td></tr> <tr><td>平成30年3月31日現在</td><td>603</td><td>80.27%</td><td>19.73%</td></tr> </tbody> </table>						単位福祉協会数	男性割合	女性割合	平成24年3月31日現在	627	81.18%	18.82%	平成25年3月31日現在	624	81.09%	18.91%	平成26年3月31日現在	621	83.57%	16.43%	平成27年3月31日現在	618	82.52%	17.48%	平成28年3月31日現在	618	82.20%	17.80%	平成29年3月31日現在	605	79.17%	20.83%	平成30年3月31日現在	603	80.27%	19.73%				
	単位福祉協会数	男性割合	女性割合																																						
平成24年3月31日現在	627	81.18%	18.82%																																						
平成25年3月31日現在	624	81.09%	18.91%																																						
平成26年3月31日現在	621	83.57%	16.43%																																						
平成27年3月31日現在	618	82.52%	17.48%																																						
平成28年3月31日現在	618	82.20%	17.80%																																						
平成29年3月31日現在	605	79.17%	20.83%																																						
平成30年3月31日現在	603	80.27%	19.73%																																						
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか																																								
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓																																								
評価2	(CHECK) 数値目標																																								
目標項目	単位福祉協会会長に占める女性割合																																								
目標・実績	目標値	上昇	達成年度	33年度	29年度	19.7%	30年度	20.6%																																	
実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考																																				
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容																																								
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について																																									
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。																																								
少しずつではあるが、女性登用の割合は増えているものの、自治会全体の加入率の低下、役員の高齢化など地域団体の課題への対応について、引き続き検討していく必要がある。																																									
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。																																								
社会福祉協議会との協力体制を強化しながら地域住民への活動参加を働きかけ、地域コミュニティの強化を図る中で、女性の役員登用など男女共同参画計画推進についても、理解を求めていく。																																									

令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	消防局	課	予防課	事業番号	3311
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	研修会の参加人員が思うように確保できなかった。  研修内容を身近なテーマにしたり、女性の視点で防災分野に参画できるような内容にすることで、より多くの方に参加してもらえるよう引き続き工夫していく。また、開催案内を早めに行うことで、参加者が日程の都合をつけやすいよう配慮する。				

事業概要	(PLAN)				
基本目標	3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大				
方針	3 防災・防犯等における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="checkbox"/>
施策の方向	1 防災・防犯等における男女共同参画の推進				
事業番号/事業名	3311 防火組織の育成				
事業内容	事業所や地域における防火思想の普及及び火災予防の徹底を図るなかで、男女共同参画の視点をもって自主防災組織等の育成に努める。				
30年度に向けた方向性	【課題】 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とはいえない。  【今後の方向性】 ・重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。				
(PLAN)					
参考	関連する計画				
実施内容	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	婦人防火クラブの活動として研修会を実施 ①テーマ :「日々の防災 ガス・石油燃料機器の安心・安全な使い方」 講師 一般財団法人日本ガス石油機器業務委員会 委員長 前城 典昭氏 ②実施日 :平成30年6月29日 ③参加人員:約100人  研修会内容を検討する際に、身近なテーマにすることで男女問わず多くの方に興味を持ってもらえるようにした。				
前年29年度	婦人防火クラブの主な活動 【会議】 6/21 尼崎市婦人防火クラブ連絡協議会の役員会、運営委員会・7/31 尼崎市防災会議・7/25 兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会の委員会 【研修会など】 6/21 尼崎市婦人防火クラブ連絡協議会の研修会(詳細は、下部に記載)・10/16 近畿ブロック婦人防火クラブの幹部研修会・11/14 兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会の研修会・2/3 住宅防火・防災推進シンポジウム 【その他の活動】 9/16 消防団と連携した避難訓練及び救命講習を実施・1/7 尼崎市消防出初式 (尼崎市婦人防火クラブ連絡協議会の研修会の内容) ①テーマ「もっとできることないかしら? ~安全・安心のまちを目指して~」講師:特定非営利活動法人NPO政策研究所 相川康子氏 ②参加人員:約100名 研修会の内容を検討する際に、女性の視点で防災の分野に参画できるように講師を選定。また、興味をもってもらえるようなテーマにした。				

令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	消防局	課	企画管理課	事業番号	3312
<b>事業概要 (PLAN)</b>		<b>評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか</b>			
基本目標	3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大				
方針	3 防災・防犯等における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="radio"/>
施策の方向	1 防災・防犯等における男女共同参画の推進				
事業番号/事業名	3312 消防団活動への女性の参画				
事業内容	防火・防災において男女共同参画の視点で取組を行えるよう、消防団活動への女性の参画を促進する。				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	<p>【課題】 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。</p> <p>【今後の方向性】 ・重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。</p>				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	別紙参照				
前年29年度	別紙参照				
<b>評価3</b>		<b>(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容</b>			
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			
<b>課題</b>		<b>(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。</b>			
		<p>・働く方の増加等により、全国的に消防団員の減少傾向が続く中、本市においても消防団員の確保が課題となっている。</p> <p>・前年度から、女性消防団員は、13名増加したが、来年度は改選年度のため、女性団員を含め多数の退団者が見込まれる。そのため引き続き男女を問わず積極的に消防団員を募集する。</p>			
<b>今後の方向性 (ACTION)</b>		<b>※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。</b>			
		<p>・女性消防団員が、性別にとらわれることなく、市民の防火・防災意識の向上を図るため、これまで以上に市民や自主防災組織などと連携した訓練やイベントなどに積極的に参加し、地域防災力の向上に取り組めるようにする。また、消防団員の募集を積極的に行い、団員確保に努める。</p> <p>・消防団員の確保(入団促進活動)については、各地区の分団長を中心に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員入団促進チラシの配布、ポスターの掲示</li> <li>・地域で開催されるイベント等において、消防団ブースを出展</li> <li>・エフエムあまがさきを活用した広報活動</li> <li>・市ホームページにおいて消防団活動をPRする</li> <li>・消防団応援事業所への参画促進</li> </ul> <p>などを積極的に実施する。</p> <p>今年度は、上記活動を継続して実施するとともに、関係団体などに「消防団応援事業所」への加入協力を依頼することを検討している。</p>			

# 70 別紙

3312 別紙

実施内容			
30 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 団員数(平成31年4月1日現在) 消防団員(実員)899人(うち女性消防団員 49人) 本部団員 15人(うち女性消防団員 8人) 分団団員 884人(うち女性消防団員 41人)</li> <li>● 平成30年度活動実績 本部女性団員(8名)</li> </ul>		
	業務種別	活動回数	活動団員総数
	防火・防災普及啓発活動	3回	21名
	訓練指導	2回	14名
	【課題】	2回	8名
	その他	19回	123名
	合計	26回	166名
	団員1人あたりの活動回数		6.4回
	分団女性消防団員(41名) (火災出動) 火災件数108件中、7件・14名出動 (防火指導) 24名の女性消防団員が、55回実施。		
	業務種別	活動回数	活動団員総数
訓練	7回	186名	
研修	3回	75名	
訓練指導	2回	72名	
巡回広報	12回	36名	
消防出初式	1回	20名	
年末警戒	6回	100名	
合計	31回	489名	
団員1人あたりの活動回数		15.8回	
前年 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 団員数(平成30年4月1日現在) 消防団員(実員)882人(うち女性消防団員 36人) 本部団員 15人(うち女性消防団員 8人) 分団団員 867人(うち女性消防団員 28人)</li> <li>● 平成29年度活動実績 本部女性団員(8名)</li> </ul>		
	業務種別	活動回数	活動団員総数
	防火・防災普及啓発活動	5回	32名
	訓練指導	2回	13名
	研修等	3回	18名
	その他	21回	138名
	合計	31回	201名
	団員1人あたりの活動回数		6.4回
	分団女性消防団員(28名) (火災出動) 火災件数120件中、4件・5名出動 (防火指導) 18名の女性消防団員が、37回実施。		
	業務種別	活動回数	活動団員総数
訓練	7回	52名	
研修	3回	16名	
訓練指導	2回	17名	
巡回広報	16回	29名	
消防出初式	1回	20名	
年末警戒	6回	83名	
合計	35回	217名	
団員1人あたりの活動回数		6.2回	

# 70 別紙

令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	危機管理安全局	課	災害対策課	事業番号	3313
事業概要 (PLAN)	基本目標 3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大 方針 3 防災・防犯等における男女共同参画の推進 <b>重点方針</b> ○ 施策の方向 1 防災・防犯等における男女共同参画の推進 事業番号/事業名 <b>3313 防災・災害復興における男女共同参画</b> 事業内容 防災対策への女性の参画や、男女共同参画の視点を持った防災施策を推進する。				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。 【今後の方向性】 ・重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	・備蓄物資については、乳幼児や女性等ニーズの違いに配慮した品目としておしりふき、生理用品等の増備を行った。アレルギー対応品の導入やおかゆタイプのアルファ化米の備蓄など、多様なニーズに対応するための物資を引き続き備えている。 ・平成30年11月には「小さな命を守る家庭の備え パパ・ママのための防災教室」をテーマに家庭向け防災セミナーを開催した。その中で女性センターレビエと共催で男女共同参画の視点をふまえた講演会を行い、災害時における生活用品の活用方法などのワークショップを行い親子で防災を学ぶ機会を創出した。 ・平成30年8月尼崎市防災会議においては、これまでの女性部会からの提言をふまえ、男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の事例を報告した。避難所運営マニュアルには更衣室やトイレの配置について男女別の設定を行うなどの留意事項を示す、避難所を運営する役員は男女のバランスが取れたものとするを明記するなど、女性部会からの提言を反映した本市の防災対策を共有する場とした。 ・平成30年度の「1.17は忘れない」地域防災訓練では、会場周辺の福祉施設が訓練に参加する等、要配慮者の参加促進を図るとともに、妊婦や乳幼児を連れた避難者を想定し、所定の避難スペースや授乳室を設置し案内する等、男女共同参画の視点を踏まえた対応の確認を行った。				
前年29年度	・備蓄物資については、高齢者向けのお粥タイプのアルファ化米をはじめ、アレルギー対応のアルファ化米を増備するとともに、粉ミルクについてもアレルギー対応の製品を購入するなど、多様なニーズに配慮した備蓄品の整備を行った。また、市内の民間事業者との災害時における飲料水の供給等に関する協定を締結したことで、停電時でもお湯の供給が可能となり、温かい食事やミルク等への活用が可能になった。生活用備蓄品については、乳幼児、高齢者用の紙おむつやお尻ふき、生理用品などの増備も行った。 ・平成29年7月30日及び8月6日に女性センターレビエや兵庫県防災士会等と連携し女性を対象とした防災講座を実施、避難所運営における女性の視点の重要性等をテーマに意識啓発を行った。 ・平成29年10月21日に女性センターレビエと共催で「家庭向け」の防災セミナーを開催し、就学前児の保護者を対象に災害時に役立つ日用品等の活用方法などに加え、男女共同参画の視点をもった避難所づくりも行った。 ・平成29年度の「1.17は忘れない」地域防災訓練では、訓練会場周辺の要配慮者施設への訓練参加を呼びかけるとともに、車椅子利用者をはじめとした要配慮者の垂直避難等を実施、平成28年度に続き避難所開設・運営訓練を行い、「要配慮者避難室」や「男女別の更衣室」、「授乳室の確保」、「避難所運営における中心役員の構成は男女双方のバランスがとれた編成にする」等の多様な視点に配慮した円滑な避難所運営を行うための新たな事項を追加し、地域・学校・行政で男女共同参画及び要配慮者への視点を踏まえた対応の確認を行った。				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	・多様な主体を想定した避難行動、避難所運営について検討する。 ・男女共同参画の視点を踏まえた防災講座等の機会の継続的な創出				
	・多様な主体との連携によって災害時におけるニーズを把握し、備蓄物資等のさらなる拡充を図る。 ・各種訓練において男女共同参画や要配慮者の視点も含め、実践的に実施する。 ・引き続き兵庫県防災士会や女性センターレビエと連携し男女共同参画の視点をふまえた講座、セミナーを開催する。				

## 令和元年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	3314
<b>事業概要 (PLAN)</b>					
基本目標	3 政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大				
方針	3 防災・防犯等における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="radio"/>
施策の方向	1 防災・防犯等における男女共同参画の推進				
事業番号/ 事業名	3314 女性センターにおける男女共同参画の視点からの防災・減災の啓発				
事業内容	女性センターにおいて、男女共同参画の視点からの防災・減災の啓発講座等を実施する。				
30年度に に向けた 方向性  (PLAN)	<p>【課題】 男女共同参画の視点からの防災への啓発についてはまだ充分とは言えない。</p> <p>【今後の方向性】 ・重点課題とした年度と同じ講座数行うことはできないが、男女共同参画の視点で考える避難所づくりは、女性センターと共催したいと思ってもらえるように開催を続けていきたい。</p>				
参考	関連する計画				
実施内容	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30 年度	別紙参照				
前年 29 年度	別紙参照				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた 項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてく ださい					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成 年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	男女共同参画の視点で考える避難所づくりに向けた啓発については、女性センターと共催したいと思ってもらえるように、興味を引く講座(親子参加型など)を企画して開催を続けていきたい。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	今後とも、男女共同参画の視点からの防災・減災の必要性を知るきっかけとなる啓発講座等を実施する。				

実施内容	
30 年度	<p>【女性センター】          &lt;講座・セミナー&gt;          ○第2回尼崎市防災セミナー『小さな命をまもる家庭の備え—ママ・パパのための防災教室vol.3—』(講師:あんどろりす(アウトドア流防災ガイド)、女性センター職員 受講者数:57人 共催:尼崎市災害対策課)          ○防災体験ワークショップ～家族で楽しく備えよう～(女性フォーラム)講師:和田のりあき 受講者数:21人          &lt;出前講座&gt;男女共同参画の視点を持って防災を考えるために、講師を派遣し講座を実施した。          ○「防災・防犯デコホイッスルづくり」(派遣先:チアフルワークフェスタ 受講者数:77人)          &lt;ブックフェア&gt;          ○「防災・減災を考えよう！」          &lt;園田学園女子大学地域連携&gt;          文部科学省「地(知)の拠点整備事業」として尼崎市にある園田学園女子大学と連携し、学生を対象に講座等を行った。          ・みんなの防災          &lt;ギャラリー&gt;          ○防災・減災を考えよう！～2018年におきた災害を振り返って～</p>
前年 29 年度	<p>【女性センター】          今年度の重点課題として、男女共同参画週間事業、女性フォーラム、防災連続講座、みんなで考えよう避難所作り等、7講座行い、災害対策課、防災士会をはじめ様々な団体と協働し、センター内だけでなく、色々な場所で実施し、地域連携事業としても、園田学園女子大学の学生や広く一般の方に防災・減災についての啓発を5講座行った。「男女共同参画の視点で欠かせないこと、その視点からみるとたくさん問題点があり、その解決策を考えることは大変有意義であった」と参加者アンケートには多数記載され、実際の避難所となる公民館で実施できたことも大きな成果であった。          &lt;講座・セミナー&gt;          ○「子育て中の女性のための防災セミナー 今すぐ、わたしにできること 命を守ろう！防災の心がまえ」(講師:藤田 朝代、女性センター職員 受講者数:13人 同席乳児4人)          ○「男女共同参画週間事業 防災・復興に男女共同参画の視点を」(講師:浅野 幸子、稲村 和美 受講者数:95人)          ○「男女共同参画の視点を持った防災連続講座・ワークショップ」①「地域防災を男女共同参画の視点で点検してみよう」②「女性の防災リーダーを目指そう！育てよう！」(講師:相川 康子 受講者数:49人)          ○「第1回尼崎市防災セミナー『小さな命をまもる家庭の備え—ママ・パパのための防災教室vol.2—』」(講師:あんどろりす、女性センター職員 受講者数:58人)          ○「2017あまがさき女性フォーラム ワークショップ3 大学生といっしょに考える防災セミナー」(運営:園田学園女子大学2年生、女性センター職員 受講者数:24人)          ○「まさか！避難所生活に！あなたならどうする？」(講師:女性センター職員 受講者数:18人)          ○「みんなで考えよう避難所づくり」全3コマ(講師:①尼崎市危機管理安全局災害対策課 職員 ②③女性センター職員 受講者数:のべ45人)          &lt;出前講座&gt;男女共同参画の視点を持って防災を考えるために、講師を派遣し講座を実施した。          ○みんなのサマーセミナー「防災・防犯デコホイッスルづくり」(派遣先:みんなのサマーセミナー 受講者数:13人)          ○男女共同参画の視点を持った防災パネル展示、防災・防犯デコホイッスルづくり(派遣先:立公ふれあいまつり 受講者数:700人)          ○小田公民館おでかけ講座「ホイッスルづくり～楽しく学ぶ防災・防犯」(派遣先:尼崎市立小田公民館 受講者数:20人)          ○市政出前講座「男女共同参画の視点を持って、防災・防犯を考えよう」(派遣先:園田小学校PTA人権学習会「あすなる」 受講者数:20人)          &lt;ブックフェア&gt;          ○「女性のための防災」「男女共同参画の視点を持った防災」「防災」          &lt;啓発誌&gt;          ○女性センターが発行する啓発誌『フェミナル』第60号(2017年10月発行)4,000部「特集:災害に備えよう～防災グッズ・男女共同参画の視点で避難所づくり」          &lt;園田学園女子大学地域連携&gt;          文部科学省「地(知)の拠点整備事業」として尼崎市にある園田学園女子大学と連携し、学生を対象に講座等を行った。          ・新聞切抜きから考える防災と男女共同参画          ・女性防災士 兵庫県、尼崎の特徴を知る          ・災害と性暴力 相談の現場から          ・多様性に配慮した避難所作り ワークショップ          ・学外講義 男女共同参画週間事業「防災・復興に男女共同参画の視点を」          ・あまがさき女性フォーラム「防災」パワーポイント、ポスター作製、防災食メニュー考案 他          &lt;ギャラリー&gt;          ○男女共同参画週間ギャラリー防災 尼崎の災害記録写真展          ○防災グッズ・防災パネル展          ○災害に備えよう 防災グッズ 男女共同参画の視点での避難所づくり</p>